



活緑クラブ
八木 眞 議員

19年度予算編成の 中心的柱は

市長 新市建設計画を基本に

問 活緑クラブを代表してお尋ねいたします。南丹市民の安心、安全、地域の活性化については一時的の猶予もなく早急に施策を講ずるべきである。19年度予算案は財政状況大変厳しく、佐々木市長自前の予算案なのか、過去の慣習的約束事に縛られていないか疑問に感じる。政策決定のシステムはどのようになされているのか。旧町それぞれ財政的に問題をかかえ合併した。合併協議会において議論、調整され決定されたことは、大きくくずれている。一時的補助金についても理解できない。国の施策も刻々と変化している。たとえば中心市街地の活性化対策についても格差は正といった観点から、大きく変化している。南丹市も新たな観点から予算編成を行うべきである。旧町の諸問題を引きずるべきで



工事が進む園部中心市街地

はないと考える。予算の編成は新しい視点、発想でなされるべきである。ケーブルテレビ、各種団体補助金、市営バス、山陰本線複線化、基幹交通網、中心市街地再開発課題、ダイオキシン発生をはじめとする環境問題等、この

ままではいくら予算がかかるかわからない。予算編成において中心的な焦点がみえない。いかがお考えか伺う。**市長** 大変厳しい財政状況のなか、新市建設計画において「旧4町が一緒になってよかつた」と言われる町づく

りを進める覚悟である。旧町が進められてきた事業計画は行政の継続性からも引き継ぐことよって市民に不安を与えないと考え、事業継続を重要とする。外郭団体に対する補助金もより一層活動内容を精査し今後も運営の助成は一定行う。予算編成システムについて、合併協議会で積み上げられた新市建設計画に基づき、新しい南丹市総合振興計画に継承し、国、府施策とあいまって地域再生施策推進、事業推進を進めるため、助役、参与、職員一体となって議論の末、予算編成を行った。いずれにしてもこの地域の環境を守り育て、市政の情報を公開し市民にご理解いただき、市民の皆様とともに市政を構築していく。



南風会
村田 憲一 議員

ダイオキシン どう受け止めるか

市長 近隣住民や多くの市民に
大きな不安を与え遺憾

問 今回、カンポリサイクルプラザのダイオキシン類が基準を上回った結果について、どう受け止め、今後どう対応を考えておられるのか。
市長 業者への怒りと

ともに、近隣住民の方をはじめ、多くの市民に大きな不安を与えたことに対し、誠に遺憾に存している。今後は基本的に、カンポリサイクルプラザに対し、京都府の指導の下で、



徹底した改善がもたれるカンポリサイクルプラザ

徹底した原因究明と、十分な改善対策をもとめていく。
問 三者協定が締結されているにもかかわらず、事故を起こした責任、住民の健康チェックや風評被害にどう対応されたのか、併せて協定書の見直しは。

市長 健康被害について、今後、府とも連携を取り対応していく、風評被害については、今のところ無いと思っ

ている。協定書についても確認をしていく。
問 検査継続の約束を
操業再開の時点

で、カンポリサイクルプラザの経費でもって、年4回検査をするとのことだが、企業存続の限り、検査継続の約束を取り付けて欲しい。
市長 今後、年4回、自主的に実施する内容になっている。実施は継続されると確信しているところである。

問 今回の不祥事は、起こるべくして起こった事故だ。企業倫理(道徳)を企業に対して指導される考えはないか。
市長 いつも安心安全なまちづくりを提唱しているところに、今回は強烈なパンチを食らわされた感がある。このことに対しては、厳格かつ積極的な対応をしていく。
情報・通信・交通 基盤整備を
問 交流を加速させる情報・通信・交通基盤

問 本町の区画整理事業が遅れていないか、完成はいつか。
市長 平成23年度を目途としている。中心市街地としてさらなる活性化を図る努力をしていく。
雇用促進の協力を
問 誘致企業に雇用の促進の協力を強く要請してはと思うが。
市長 企業に対する働き掛けも含めて、制度の活用をして、地元雇用が増えるように努力していく。